ときどきわくわくいきいき 子育てひろば

すこやかコラム

生活リズム③～スキンケア～

乳幼児期の生活では、スキンケアにも大切な意味があります。身体を清潔にすることは、気持ちが良いと感じたり、皮膚のトラブルを予防したりするだけでなく、脳の目覚めにも影響があるからです。

生後4～5か月ごろのお子さんは昼夜の区別がつくようになるので、朝お子さんが目覚めたら、濡れタオルで顔や手のひら、足の裏をふいてあげましょう。そうすることで脳がすっきり目覚め、1日を気持ち良く始めることができ、1日の活動にメリハリがつきます。

また、小さなお子さんは、新陳代謝が活発で汗っかきなので、あせもなどの皮膚のトラブルを起こしがちです。お風呂に入れたり、身体をふいたり、着替えさせるなどの対応で予防・改善することができますが、症状がひどくなったり、長引いたりするようなときには主治医の先生に相談しましょう。特に最近では、着せすぎ、暖房のつけすぎで、冬のあせもが増えています。暑い季節に限らず、年間を通して気を付けてあげましょう。

大人が普段当たり前にしている生活習慣は、お子さんの成長発達に大きな影響を与えます。まずは親自身が規則正しい生活を送り、お子さんの手本となるように心掛けてください。子どものときに身についた良い生活習慣は、一生の宝物になることでしょう。

原稿…市保健師

地域子育て支援センター

センターの催し

◎子育て健康相談by保健師
～確かめて　ホッと安心　健やか子育て～
とき　9月4日(木)・10月2日(木)
午前10時30分～11時30分

◎春・夏・秋・冬　季節の歌遊びを楽しもう！
とき　9月17日(水)
午前10時45分～11時30分
※健康相談と歌遊びは、申し込みの必要はありません。

◎グランパ・グランマも一緒に！
～おぼえよう応急手当～
とき　9月12日(金)
午前10時15分～12時
申込期限　9月11日(木)

◎パパも一緒に親業
講師　斎藤エツ子氏
とき　9月13日(土)
午前10時15分～12時
申込期限　9月11日(木)

◎ママのミニ学習会「こころ編」
～乳幼児期の対応について①～
講師　小野原芙美子氏
とき　9月16日(火)
午後1時45分～3時45分
申込期限　9月12日(金)
※お子さんをお預かりします。
開催場所　すべて子育て支援センター
申込先及びくわしくは
地域子育て支援センター☎(22)2299

◎ミニ運動会
とき　9月18日(木)
午前9時45分～11時30分
ところ　落合児童館
定員　親子20組(先着順)
申込開始　9月8日(月)から
申込先及びくわしくは
落合児童館　☎(27)0058

ママのミニ学習会に行ってきました

8月1日(金)に13名のママさんが参加して「ママのミニ学習会」が開催されました。今回は「ことば編」の講座として、子どもの発達における言葉の重要性について、下山田弘先生から実体験を交えたお話がありました。ママさんたちは、メモを取りながらもうなずく場面がたびたびあり、受講後には「言葉の大切さを改めて知った」「言葉も子育てのひとつなんだと分かった」「愛情を持って子どもに言葉を投げかけたい」などの感想が寄せられました。

なお、この学習会には「からだ編」「こころ編」「ことば編」「親業訓練」があり、今年度は計16回開催されます。

図書館だより

ホームページアドレス
http://lib.nikkocity.jp/
携帯電話用アドレス
http://opac.city.nikko.lg.jp/

お問い合わせは

今市図書館　☎22-6216
開館時間：午前9時～午後7時
休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）

日光図書館　☎53-5777
開館時間：午前9時30分～午後6時
休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）

藤原図書館　☎76-1203
開館時間：午前9時30分～午後6時
休館日：毎週火曜日（祝日の場合は翌日）

9月の催し

▼今市図書館

◎童話・児童文学セミナー
とき　9月13日(土)
午後1時30分～3時
内容　童話を楽しむための講座
講師　漆原智良氏
定員　40名(先着順)

◎絵本読み聞かせ育成講座(全4回)
とき　9月27日(土)、10月4日(土)・19日(日)・25日(土)
午後1時30分～3時
内容　絵本読み聞かせの知識・技術
講師　加藤美智子氏
定員　30名(先着順)
※いずれも参加費無料
※いずれも電話か直接窓口で申し込む

◎読書会(二水会)
とき　9月10日(水)午後1時30分～3時

◎おはなし広場
とき　9月13日・27日(土)
午後2時～3時

▼日光図書館

◎読書会(いずみの会)
とき　9月16日(火)午前10時～正午

◎おはなし会
とき　9月6日・20日(土)
午後2時～3時
※9月から第1・第3土曜日のみ開催

◎赤ちゃんのためのおはなし会
とき　9月4日・18日(木)
午前10時30分～11時

▼藤原図書館

◎おはなし会
とき　9月3日(水)
午前10時30分～11時30分
9月27日(土)
午後1時30分～2時30分

図書館コラム

本を楽しもう！

100年愛され続ける動物たち

皆さんは「ピーターラビット」を知っていますか？水色のジャケットを着て立っているウサギの絵を、どこかで一度は見たことがあるでしょう。

ピーターラビットは、イギリスで生まれた世界一有名なウサギです。文房具や食器に絵が使われている人気のキャラクターですが、お話はそんな愛らしい絵とは裏腹に、スリル満点の連続です。例えば、ウサギのピーターは畑に忍び込んで野菜を食べ、苦手な猫に出会ったり、人間のマクレガーさんから命からがら逃げたりと、危機一髪の冒険をします。お話の舞台も、豊かな自然を中心に、都会だったり、またあるときは人形の家だったりとさまざまです。

そのほか、猫やリス、アヒルなど、身近な動物を主人公にして作られた20を超えるお話があり、「ピーターラビットの絵本」シリーズとして読み続けられています。また、作者のビアトリクス・ポターが私家版で最初に作品を発行したのは1901年ですので、107年もの長きにわたって愛されているのです。

ところで、このピーターラビットが日本で初めて翻訳されたのは、1906年の「お伽小説 悪戯な小兎(松川次郎)」といわれています。その後さまざまな訳が出ましたが、現在広く読まれている絵本は、今年101歳で亡くなった石井桃子さんの翻訳によるものです。

子どもから大人まで、どの年代も楽しめる「ピーターラビットの絵本」シリーズ。皆さんも好きな動物のお話から読み始めてみませんか。